



四日市公害！

約半世紀前、当時の日本は戦後復興から高度経済成長期に入りました。経済優先の社会背景のもと、本市を含む全国各地に大規模な工場が次々と建設され、工場周辺ではさまざまな公害が発生しました。

本市でも、大気汚染によって多くの人々がぜん息に罹患（りかん）するなど「四日市公害」と呼ばれる深刻な公害問題が生じました。

こうした状況を受けて、全国に先駆けて昭和40年に本市が実施した公害健康被害者に対する医療費救済制度、そして昭和42年に提起された四日市公害裁判などは、日本の公害問題の解決への道を開き、産業の発展と環境保全を両立させるきっかけとなりました。

その後、市民、企業、行政が一体となった環境改善の取り組みにより、昭和51年度には、ぜん息の主な原因とされる二酸化硫黄濃度が、国の基準を市内全域でクリアするなど、大幅に環境が改善されました。

現在、1年生では環境学習を進めています。その一環として、この四日市公害についての学習も進め、講師先生をお招きしての特別授業も行っています。また、四日市市立博物館と併設されている、四日市公害と環境未来館（そらんぽ四日市）からも講師先生をお招きして授業を実施しました。



講師先生は、中学校で社会科の教諭をされて、現在は高校の非常勤講師をされている萩森先生です。

生徒たちは、自分たちが住む塩浜地区にかかわることでしたので、真剣に集中して聞いていました。とても良い学習になりました。



講師先生は、四日市公害と環境未来館（そらんぼ四日市）に勤務をされている石川先生です。

生徒たちは、前回の学習を踏まえて、四日市公害についてのクイズ形式の質問やDVDの映像を交えた授業に、真剣に集中して参加していました。

両講師先生、ありがとうございました。



大掃除&WAX がけ！

10月9日（金）の6限目から、大掃除&WAX がけを全員で行いました。

校舎の廊下も、アシスタントさんたちがポリッシャーをかけていただいているおかげで、徐々に元の色を取り戻しつつあります。



磯津鯨船保存会！

磯津鯨船保存会の方々からマスクを寄贈していただきました。塩浜にある山源縫製さんで作っていただいた、くりかえし洗えるフィットマスクです。マスクにはかわいいクジラのマークがあります。さっそく生徒に配布しました。職員の分もいただき、ありがとうございました。11月1日（日）には、磯津の鯨船が20年ぶりにお披露目されます。お時間がございましたら、ぜひ見に行ってください。

